

令和3年度 宮城県東松島高等学校「志教育」実践事例

本校の令和3年度「志教育」の実践については以下のとおりである。

I 本校の「志教育」の目標

- 1 コミュニケーション能力を高め、自他を尊重する態度を身に付ける。
- 2 正しい職業観と社会性を身に付ける。
- 3 目標に向かって努力し続ける姿勢を身に付ける。

II 本校の令和3年度「志教育」の実践

1 地域奉仕活動

8月と10月の2回実施で計画した。しかし、8月の実施は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言で集団での行動を控えなければならないということから中止となった。2回目は10月下旬に全校生徒と保護者の協力を得て行うことができた。主にJR矢本駅周辺や東松島市役所周辺、商店街通りなど10カ所を清掃した。普段お世話になっている学校周辺の施設や通学路の清掃活動を行うことで地域の方々に恩返しができたのではないかと考えている。

【清掃活動の様子】



2 おのくん消毒スタンド プロジェクト (生徒会事務局)

以前は地域貢献の一つとして生徒が近隣の小学校に出向き挨拶運動などを行って交流を深めていたが、今年は新型コロナウイルス感染予防の観点等から難しいと考え、何か別の交流の方法はないかと探していた。生徒がインターネット等で情報収集していたところ、東松島市の小野地区で作

られているサルがモチーフのキャラクター「おのくん」の消毒ボトルスタンドが作られていることを知り、このボトルスタンドを近隣の小学校に配布することで、小学生が楽しく手指消毒してくれるのではないだろうか、そして、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの予防にもつながるのではないかと考え、「おのくん」を管理している代表の方に連絡を取り、私達の活動の趣旨を伝えたところ、快く承諾を得ることができた。

消毒ボトルスタンドの作成の手順は次のとおりである。

- (1) 「おのくん」POPのホームページから「おのくん」消毒ボトルスタンドPOPを印刷する。
- (2) ラミネート加工
- (3) それぞれのパーツを切り抜く作業
- (4) 組み立て



約50個の「おのくん」消毒ボトルを生徒会事務局で作成し、矢本西小学校と矢本東小学校に訪問し、児童の皆さんに渡すことができた。小学校の校長先生からは「小学校と高校との交流を深め、地域連携を図りましょう」との言葉をいただき、生徒達も自分たちにできる貢献の方法をあらためて考えた。

【訪問の様子】

矢本西小学校

矢本東小学校



今後の計画としては、近隣の幼稚園や保育園にも「おのくん」消毒ボトルを寄贈して、園児達の新型コロナウイルス感染症対策に役立てられるよう取り組んでいきたいと考えている。